

2014年5月30日

## 日清製粉グループ「三鷹の森ジブリ美術館」の活動全般に協賛

日清製粉グループ（株式会社日清製粉グループ本社 社長：大枝 宏之）は、本年5月から、公益財団法人徳間記念アニメーション文化財団が運営する「三鷹の森ジブリ美術館」（館長：中島清文 入場予約制）に協賛してまいります。

### ■ 「三鷹の森ジブリ美術館」協賛までの経緯

当社グループは、2008年3月よりCSR活動の一環として、世界の良質なアニメーション作品を広く日本の人々に紹介していく「三鷹の森ジブリ美術館ライブラリー」事業への継続的な協賛を行ってきました。また、2011年6月からは特定の作品や作家、スタジオなどに焦点を当てたテーマで毎年企画される「三鷹の森ジブリ美術館企画展示」に特別協賛してまいりました。本年からは、より発展的な取り組みとして「三鷹の森ジブリ美術館」の活動全般に対する協賛をさせていただき運びとなりました。日清製粉グループは、この協賛を通じてアニメーション文化の一助となり、子どもたちの笑顔をはぐくむお手伝いをしていきたいと考えています。

### ■ 「三鷹の森ジブリ美術館」について

「三鷹の森ジブリ美術館」は、「となりのトトロ」「もののけ姫」などのアニメーション映画を制作した、スタジオジブリ作品の世界を体験できる美術館です。アニメーションの仕組み・制作過程のわかる展示室や、図書閲覧室のほか、オリジナル短編アニメーションの上映なども行われています。次代を担う子どもたちのために作られた同美術館には、世界中から入場者が連日訪れています。

### ■ 新企画展示「クルマわり人形とネズミの王さま展」がスタート

同美術館内の企画展示室では、本年5月31日（土）から「クルマわり人形とネズミの王さま展」が開催されます。絵本『くるみわりにんぎょう』（徳間書店刊）に出会い、このお話を“メルヘンのたからもの”と感じた宮崎駿監督が、幼い女の子たちを惹きつける「クルマわり人形」の不思議な魅力を読み解いた企画展示です。同作品の魅力が、宮崎駿監督自らが描き下ろした展示パネルや立体造形物などで紹介されます。



©Nibariki ©Museo d'Arte Ghibli

この件に関する報道関係者の方のお問い合わせ先  
株式会社日清製粉グループ本社 総務本部 広報部 担当：佐々井・堀野  
東京都千代田区神田錦町1-25 電話03-5282-6650